

行政改革審議会委員からの意見等

No.	分類 番号	委員からの質問・意見	回 答
1	全体	【総括意見】 令和 4 年度実績報告書(案)については、個別の実施項目それぞれの主な取組内容とその進捗管理指標が明記されており、それぞれの進捗状況も定量的な評価で大変分かり易くて良いと思います。更に、主な取組内容で数多くの新規の取組みも実施されており1市民として感謝申し上げたい。	進捗状況が定量的な評価で分かりやすく記載され、数多くの新規の取組も実施されていると一定の評価をいただき、ありがとうございます。 令和4年度の進捗状況を踏まえて、引き続き必要な事業を実施していきます。
2	全体	【総括意見】 ご提案としては、令和4年度の進捗状況の総括サマリーシートが有れば、令和4年度の全体的な取組結果概要の理解に便利なので、分量が多い報告書は出来る限り サマリーシートの設定をお願いしたい。	ご提案いただき、ありがとうございます。 総括サマリーシートを作成しましたので、全体的な取組の把握にご活用ください。
3	全体	【総括意見】 各実施項目の進捗管理指標について、目標値R8に対してR4の結果で整理されていることは適切で良いのですが、目標必達の取り組みの為には5か年は長いので中間目標KPIの設定も検討されてはとご提案します。	ご提案いただき、ありがとうございます。 計画上は、令和8年度の目標値のみを記載していますが、関係課に対しては最終年度の目標値を踏まえ、毎年度の目安となる目標値を示し、取組の進捗状況を把握できるようにしております。 その上で、進捗が遅れている実施項目については、遅れている要因及び審議会委員からのご意見等も踏まえて、事業の見直しや必要となる事業の実施を検討していきます。

行政改革審議会委員からの意見等

No.	分類 番号	委員からの質問・意見	回 答
4	全体	【総括意見】 全体としては大半の項目で目標値に近づいており、順調かと思えます。ただ、いくつかの指標においてむしろ悪化しているものがあり、それについての分析はどうなっていますか。	ご意見をいただき、ありがとうございます。 4つの指標が、令和3年度と比較して、数値が悪化しています。 それぞれの指標について、個別にも質問をいただいていますので、各指標の分析等については下記の質問No.により回答をさせていただきます。 実施項目①『仕事を通じて成長していると実感する職員の割合』⇒No.5 実施項目②『1人あたり時間外勤務時間(年間)』⇒No.6、7 実施項目②『職員満足度調査における総合満足度』⇒No.6、7 実施項目⑧『コピー枚数(年間)』⇒No.8
5	実施項目 ①	【人材の育成・活用】 実施項目「①人材の育成・活用」は目標値R8で95以上に対してR3が87.4、R4が85.6と進捗が悪化している難しい問題と思われます。ご提案ですが、目標達成の為に、今後年度毎に上記KPI(重要業績評価指標を設定してPDCA管理サイクルを確実に回していく取り組みが有効 かと考えられますのでご検討下さい。	ご提案いただき、ありがとうございます。 関係課に対しては最終年度の目標値を踏まえ、毎年度の目安となる目標値を示し、取組の進捗状況を把握できるようにしております。 その上で、進捗が遅れている実施項目については、遅れている要因等も踏まえて、必要となる事業の実施を検討していきます。 「人材の育成・活用」の進捗管理指標『仕事を通じて成長していると実感する職員の割合』については、令和3年度と比較して、数値が悪化しています。 人材育成が行われていない理由を確認したところ、「上司、先輩が人を育成する意識が薄い。」「業務が忙しくそこまで手が回らない。」という回答が多い状況でした。 令和5年度では、例えば、他部署の先輩職員が、新規採用職員の職場内での悩みや問題解決のサポートを行うメンター制度と呼ばれる取組を実施し、個々の職員のキャリア形成支援を行うとともに、コミュニケーション能力向上など先輩職員自身の成長の機会を設けます。 また、職場内の人材育成や業務の平準化は、まずは係内のコミュニケーションの向上が欠かせないと考えています。今後、全庁的な係内ミーティングの実施状況を調査し、月1回は必ず全係員を集めてのミーティングを実施し、コミュニケーションの向上に繋げていくことを検討しています。

行政改革審議会委員からの意見等

No.	分類 番号	委員からの質問・意見	回 答
6	実施項目 ②	【働きやすい職場環境づくり】 実施項目「②働きやすい職場環境づくり」も上記①と同様に進捗が悪化しています。①、②に共通した現場の声として「業務が忙しくて手が回らない」「業務量が多い」等が有りますので、これらへの効果的・効率的な改善策が必要かと推察します。既に、多くの改善に取り組まれています。私の民間企業での長年同様の問題解決に取り組まれた経験から、上記KPIとPDCAの着実な実践が有効でしたので、ご参考にご提案いたします。	ご提案いただき、ありがとうございます。 進捗管理指標の「総合満足度」の調査をしていく中で、「最も不満に感じていること」は、「業務量」という回答数が多くなりました。 進捗管理指標の「1人あたり時間外勤務時間」については、選挙や条例改正、計画策定等があった所属を中心に、時間外勤務が前年度と比較して多くなっています。 改善策としては、令和5～6年度に事務事業の総点検の実施を予定していますので、全庁的な業務の見直しに取り組み、事業の廃止や効率化により、全体の業務量の削減を図ります。 また、RPAやAI-OCRを導入している部署の中で、時間外勤務が減少している部署もありますので、引き続きICTを活用した業務の効率化を進めていくことにより、時間外勤務時間の削減に取り組んでいきます。 あわせて、職員の採用を積極的に行うとともに、業務量に応じた適切な配置となるよう人事異動を行うことで、時間外勤務の削減を図っていきます。
7	実施項目 ②	【働きやすい職場環境づくり】 実施項目②の働きやすい職場環境づくりはどちらも数値がかなり悪化しています。これはR4年度の新規取組が功を奏さなかったからですか、それともこれら取組の効果が出るのに時間がかかるという認識ですか。	令和4年度の新規取組については、「時間外勤務削減に向けた優良事例の周知」など年度末に実施したものもあるため、効果がまだ出ていないと考えられる取組もあります。 業務量の多さから満足度が低下していることから、今後、実施する事務事業の総点検では、他自治体の取組も参考にしつつ、全庁的な業務の見直しに取り組み、業務量の削減を図ります。

行政改革審議会委員からの意見等

No.	分類 番号	委員からの質問・意見	回 答
8	実施項目 ⑧	【ICTを活用した業務の効率化】 実施項目⑧のICTを活用した業務の効率化の項目について、コピー枚数がむしろ5%程度増えています。その要因について具体的に何か分析はされていますか。例えば課・係ごとの枚数やその削減可能性について分析されていますか。 また、目標達成のためには現時点から考えるとR8年度には半減以上させる必要があります。昨年度の取り組み内容ではかなり難しく、かなり大胆な取り組みが必要かと思います。具体的に本年度から取り組めることはありますか。	課・係ごとの使用枚数は把握しており、周知していますが、各課・係の削減可能性については分析できておりません。 現時点では、全庁的に内部協議や職員向けの説明会等で、紙を多く使用している状態のため、まずはこれらの内部協議等のペーパーレス化を全庁的に行うことで、紙の使用量を削減したいと考えています。 令和5年度の取組としては、「各職員のパソコン等を活用し、内部協議等はペーパーレスにより実施すること」、「部長・課長の決裁は原則、電子決裁とすること」を全庁に依頼しました。 しかし、実施している課、実施できていない課があると思われるため、今後、幹部会議等で市長から指示してもらいトップダウンにより取組を進めていく等の対応策を検討していく予定です。